

# 嘱託産業医として

---

第2回産業保健のあり方に関する検討会資料

中嶋 義文（三井記念病院精神科）

# 産業医の現場の課題

---

<b>1</b>	<b>現場ではどのようなことが課題となっているか</b>
<b>2</b>	<b>現場はどのような体制で業務を行っているか</b>
<b>3</b>	<b>特に中小企業において課題を感じることは</b>
<b>4</b>	<b>今後重視すべきと感じている取組</b>
<b>5</b>	<b>柔らかく何重にも支える</b>

- **休復職者の2／3以上がメンタル関連であり、休復職の判定と配慮の実装に関する助言が求められるー特に長期休業者、再発の場合、休職に至らないアブセンティーズムやプレゼンティーズムの問題**
- **医療への過剰な期待ー事例性が医療の問題ではなく職場環境の問題（要求水準の不適切な設定、多様な働き方を許容できない風土など）であることが多い**

# メンタル不調の治療と休復職支援

## 事業者の基本方針

休復職ルールの明示  
支援窓口の明示

## 労働者の健康管理

法定健診  
ストレスチェック  
過重労働面談

## 治療・療養の支援

休職する段階  
治療・療養中の段階

## 復職の支援

復職の段階  
復職後の段階

# 産業医の現場の課題

---

1	現場ではどのようなことが課題となっているか
2	現場はどのような体制で業務を行っているか
3	特に中小企業において課題を感じることは
4	今後重視すべきと感じている取組
5	柔らかく何重にも支える

## ① チーム：柔軟かく何重にも支える産業保健体制

- **事務担当者／衛生管理者、人事労務担当者、社員相談室、産業看護・保健師、公認心理師、キャリアコンサルタント**
- **特に現場の産業看護・保健師は必須**
- **休復職にあたっては公認心理師やキャリアコンサルタントが大きな役割**
- **外部EAP、復職支援サービスも利用**

# 柔らかく何重にも支える 細やかな産業保健体制

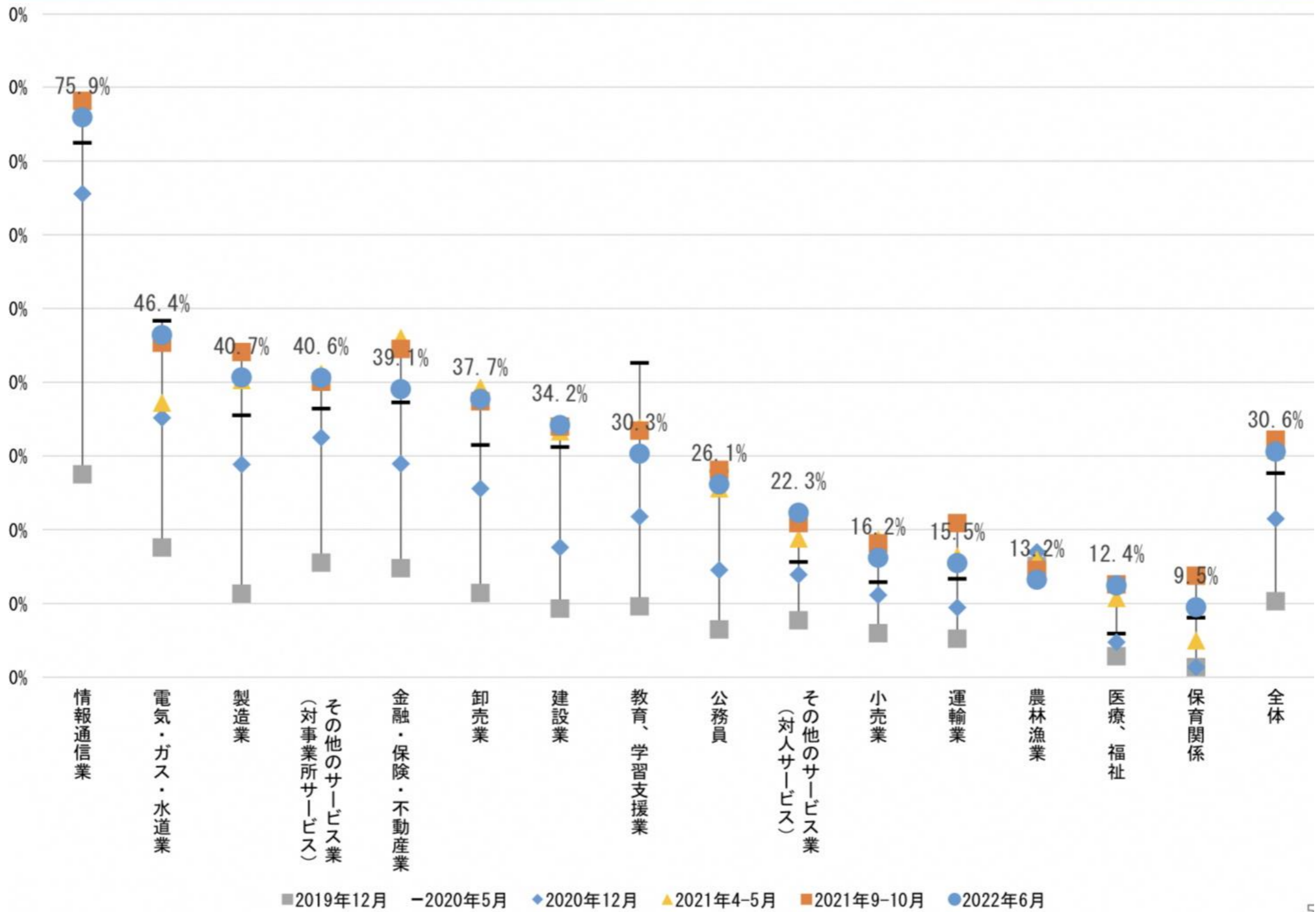


## ② 遠隔協働：時間と場所にとらわれない支援

- WEBによる面談、安全衛生委員会、クラウドベースの健康管理データ管理や意見書作成、メール等での情報共有
- 嘱託産業医はほとんどが副業、移動時間が省かれ、手待ち時間に対応できるため地方の産業医不足問題への解決ともなる
- 情報セキュリティ（個人情報保護）の徹底
- コロナ禍による働き方の変化に対応



# 【1. 働き方】業種別のテレワーク実施率（就業者）



### **③ 業務効率化：文書作成負担の低減**

- 面談結果・措置意見書等の作成を雛型の利用やクラウドベースの文書作成管理によって省力化**
- 休復職や両立支援のための主治医との情報共有も職務を遂行する上の実際的な問題に焦点をあててやりとりするようにして漠然とした働き方の制限について照会しない**

# 産業医の現場の課題

---

1	現場ではどのようなことが課題となっているか
2	現場はどのような体制で業務を行っているか
3	特に中小企業において課題を感じることは
4	今後重視すべきと感じている取組
5	柔らかく何重にも支える

- **休復職における配慮が大企業に比べ制限されている（産業医不在の場合主治医の意見が一人歩きしてしまう）**
- **産業保健スタッフがいてもひとり職場のことが多く、業務・判断が時に独善的、属人的になりやすい**

# 産業医の現場の課題

---

1	現場ではどのようなことが課題となっているか
2	現場はどのような体制で業務を行っているか
3	特に中小企業において課題を感じることは
4	今後重視すべきと感じている取組
5	柔らかく何重にも支える

**● 従業員の多様な働き方を支援する = 包含力の高い産業保健活動を目指すためには**

**① チーム：法令上の構成員の位置づけを明確化**

**② 遠隔協働：ITリテラシー向上と情報セキュリティ**

**③ 効率化：文書化過程（フロー）の合理化・省力化**